

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901548		
法人名	有限会社 シャイニング		
事業所名	グループホーム「シャイニング」		
所在地	北海道旭川市永山1条1丁目2番39号 (電話) 0166-49-5228		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年11月19日	評価確定日	平成19年12月1日

【情報提供票より】(平成19年10月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	12人, 非常勤 7人, 常勤換算16.67人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600 円	その他の経費(月額)	19,000~25,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
	または1日当たり	1,350 円		

### (4) 利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 80.9 歳	最低	64 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山循環器科クリニック 伊藤歯科 道北勤医協一条通病院
---------	-----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域住民が参加した「夏祭り」の開催やバザーで町内会婦人部がボランティアで参加するなど地域に密着した活動が長く地域住民や利用者・家族の信頼も厚い。また、食事が楽しみなものになるように給食会議を開催して、利用者一人ひとりの嗜好の把握に職員の活発な意見交換が行われたり、専門の調理士を配置するなど工夫した取り組みが行われ、月に一度はちらし寿司やにぎり寿司など提供され喜ばれています。事業者は、大学の講師や「子育て支援」事業の事務局を勤め子供達や父兄との交流が行われ地域の中心的役割を担い地域の福祉活動に寄与している。広い中庭には、東屋が作られ日光浴を楽しんだり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、利用者が一人になったり談笑できるスペースの確保が提案されていましたが、中庭に東屋が作られ日光浴を楽しんだり談笑できるスペースが用意されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、全ての職員が参加して活発な意見交換や改善点が見出されケアサービスの質の向上に取り組まれています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。主な主題については 家族会の活動内容について 地域のひとり暮らし高齢者の実態について 小学生の登下校について 地域との協力体制について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月「シャイニング新聞」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など報告して意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、「シャイニング新聞」には「ちょっと豆知識」コーナーを設け認知症とは?など簡潔に記され認知症に対する理解や広報に取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して役員を引受けたり、地域の行事に参加するなど地元の人達との交流が図られています。また、「夏祭り」や「バザー」を開催するなど日常生活を通じて地域との連携が行われています。福祉専門学校生や地域のボランティアの受け入れなど認知症に対する理解や啓発に積極的に取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして独自の理念を作り上げ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性を認識して、理念の実践に向けて毎朝のミーティング時に唱和して取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して役員を引受けたり、地域の行事に参加するなど地元の人達との交流が図られています。また、「夏祭り」や「バザー」を開催するなど日常生活を通じて地域との連携が行われています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して活発な意見交換や改善点が見出されケアサービスの質の向上に取り組まれています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表、民生委員、知見を有する有識者、理事及び管理者・職員で構成され地域のひとり暮らし高齢者についてなど具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、包括支援センターや消防署などの協力を得ながら、より一層地域の住民も参加した具体的な取り組みも計画されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市担当者との連携の重要性を認識し、日々取り組んでいる。またグループホーム研究会などの要の役割を果たして地域ケアサービスの質の向上に先駆的な役割を果たしている。</p>		<p>今後は、市各部門や包括支援センターの協力を得ながらサービスの質の向上とともに具体的に取組むことができるように検討されています。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「シャイニング新聞」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など報告して意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、金銭管理についても毎月報告されています。</p>		<p>特筆すべき点として、「シャイニング新聞」には「ちょっと豆知識」コーナーを設け認知症とは？など簡潔に記され認知症に対する理解や広報に取り組まれています。また、成年後見人制度にも積極的に取り組まれています。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果を運営推進会議で報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでいます。また、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができ、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「シャイニング新聞」で職員の紹介記事を掲載して、家族にきめ細かな情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、職員同士相互理解が深まるように各ユニットの人事交流も行われている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月バリデーションの研修会に参加し、職員間で共有できるように報告会も実施されている。また、外部の研修参加を積極的に奨励して、毎月の職員会議で参加者の報告会が行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や研究会で他施設との積極的な交流が行われ、ネットワーク作りや研修会も開催されている。また、事業者は大学の講師や「子育て支援」事業の事務局を勤め子供達や父兄との交流が行われ地域の中心的役割を担い地域の福祉活動に寄与している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の過去の大事な出来事や生活歴把握して、編み物や庭の手入れ、畑作業などへの支援や本人の意向や希望に応じて散歩や買物、花見や公園・紅葉見物などのドライブ、寿司屋や喫茶店、ラーメン、蕎麦屋さんへの外食など本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いを職員間で共有して、散歩や買い物、白鳥見物や男山酒造などへのドライブや外食など積極的に外出の機会を多く作ったり編み物などの趣味への支援や給食会議で食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、月一度カンファレンス、モニタリングが行われ利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物、外食など柔軟に支援を行っている。また、地域行事への参加や喫茶店への訪問など時々々の要望にも対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、指針を定め職員間で共有される取り組みが行われている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや意向を尊重して、散歩や買い物、ラーメンや喫茶店などの外食、畑作業や食事の準備・後片付けなど支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように給食会議を開催して、利用者一人ひとりの嗜好の把握に職員の活発な意見交換が行われたり、専門の調理士を配置するなど工夫した取り組みが行われ、月に一度はちらし寿司やにぎり寿司など提供され喜ばれています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めているが週2回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの思いや生活歴が把握され、庭の手入れや畑での作業、食事の準備・後片付け、寿司やラーメンなどの外食や買い物、散歩、心身のリフレッシュや気分転換のための紅葉・白鳥見物のドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、公園散策や白鳥見物、花菜里ランドまでのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。また、前庭に東屋が作られ日光浴が楽しめるように工夫されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、ホットライン・消火設備についても自主点検が実施され対策されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについても給食会議で検討されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天窓から採光が差し込み廊下や居間は明るく、リビングには椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、中庭には東屋が作られ日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。利用者にとって不快な音や光がないように配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。また、共用空間や居室は床暖が設備され寒さ対策もされている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。